

日々是Oracle APEX

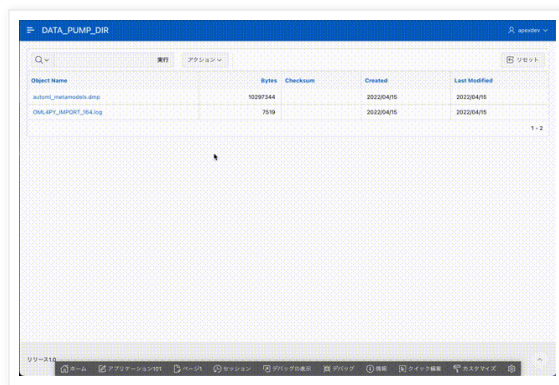
Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

2022年4月15日 金曜日

Autonomous DatabaseのDATA_PUMP_DIR以下にあるファイルを操作するアプリの作成

Autonomous DatabaseのDATA_PUMP_DIR以下にあるファイルを、逐一コマンドを実行して確認するのが手間だったので、APEXアプリを作ってみました。

以下のような動作をします。



エクスポートしたアプリケーションを以下に起きました。

<https://github.com/ujnak/apexapps/blob/master/exports/data-pump-dir.sql>

実行にあたって、APEXアプリケーションをインストールしたスキーマに、ディレクトリ **DATA_PUMP_DIR** のすべての権限が割り当てられている必要があります。

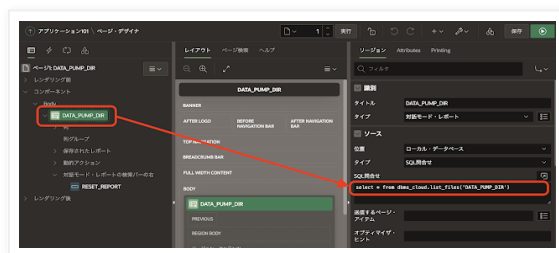
管理者**ADMIN**にて、以下のコマンドを実行します。

grant all on directory data_pump_dir to スキーマ名;

少々、アプリケーションの説明をします。

DATA_PUMP_DIR以下の**ファイルを一覧**している、**対話モード・レポート**のソースは以下です。

```
select * from dbms_cloud.list_files('DATA_PUMP_DIR')
```



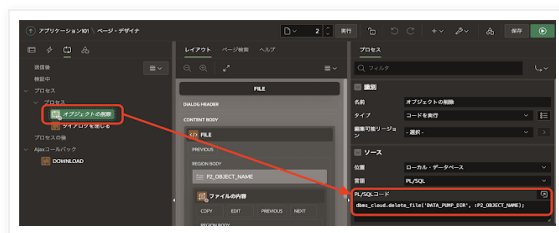
ファイルの内容を表示するために使用している、PL/SQL動的コンテンツのソースは以下です。

```
sys.http.p('<pre><code>');
sys.http.p(to_clob(bfilename('DATA_PUMP_DIR', :P2_OBJECT_NAME)));
sys.http.p('</code></pre>');
```



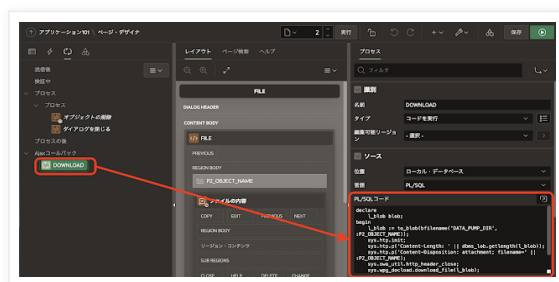
削除ボタンを実装している、プロセスのソースは以下です。

```
dbms_cloud.delete_file('DATA_PUMP_DIR', :P2_OBJECT_NAME);
```



ダウンロード処理を実装している、Ajaxコールバックのソースは以下です。

```
declare
  l_blob blob;
begin
  l_blob := to_blob(bfilename('DATA_PUMP_DIR', :P2_OBJECT_NAME));
  sys.http.init;
  sys.http.p('Content-Length: ' || dbms_lob.getlength(l_blob));
  sys.http.p('Content-Disposition: attachment; filename=' || :P2_OBJECT_NAME);
  sys.owa_util.http_header_close;
  sys.wpg_docload.download_file(l_blob);
  apex_application.stop_apex_engine;
end;
```



以上になります。

簡単なアプリですが、何かの参考になれば幸いです。

完

[ウェブ バージョンを表示](#)

自己紹介

Yuji N.

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。
こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

[詳細プロフィールを表示](#)

Powered by Blogger.
